

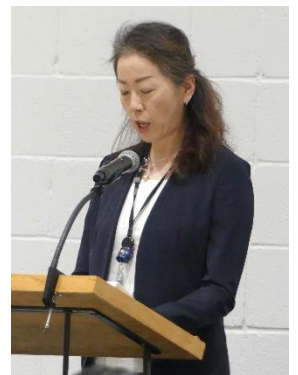
新委員長よりご挨拶

2024 年 3 月の運営委員会で新委員長に就任いたしました栗原美恵です。日本語学校はコロナ直前の 2019 年に長男が小 2 で転入してから、早いもので 5 年目を迎えました。子供たちも中 1 と小 4 になり、一保護者としては、アメリカの地に居ながら「中学生になるとこんな難しい勉強をするんだっただけ？」「あ、このお話の題名は『一つの花』だったんだね。お母さん『一つだけちょうだい』だと思っていたよ！」というような会話を子供たちと交わせることを、日々有難く感じています。



委員長就任後の最初の大仕事は、卒園式と卒業式でした。まるで日本にいるかのような式に、対面の日本語学校ならではの素晴らしさを感じました。また、卒業式には、各方面から日本語学校を支えてくださっている 9 名の来賓の皆様をお迎えしました。式後、来賓の皆様との歓談では、英語と日本語という言語の面（バイリンガル）のみならず、「バイカルチャー」である日本語学校の生徒たちに対する国際人材としての期待は高いのだと実感しました。また、DMV エリアの日本語コミュニティ強化に向けた追い風も感じ、これからが楽しみなところです。

また、今年度からは、国語力向上ベーシックプランへの本格的実施となりますので、「共働学習」の継続推進と、「到達目標」の周知を通して、引き続き学校全体で国語力向上を目指していきたいところです。学習計画表を用いた「共働学習」の取り組みも、日本語学校全体にだいたい定着してきたことを感じています。保護者の皆様からも、学習計画表のおかげで翌週の授業に向けて何をどのように準備していけばよいのかが分かりやすくなったという声を聞きます。「到達目標」については、生徒を辞めさせるための仕組みではなく、到達のための目標であり、そこに向けて生徒、ご家庭、先生方と共に頑張っていくための目標です。日本語学校へ通うことによる最大限の成果を得るためにも、まずはご家庭での学びを引き続き進めていきましょう。保護者同士頑張りましょう！



新入学のご家庭だけでなく、ベーシックプランについて改めて確認したい方は、本校ウェブサイト[保護者ページ](#)の「総会・保護者説明会（要保護者パスワード）」に掲載されている資料「国語力向上ベーシックプラン～国語力向上を目指す基本提案～」(2021 年 2 月 20 日付)をご参照ください。また、「はなみずき」2023 年度第 38 号には、三原校長先生が作成された報告資料のリンクも掲載されています。同じく保護者ページからご覧ください。



辻川前委員長（左）から
バトンを受け継ぐ

学校経営については、今年度は昨年度比で、幼稚部と高等部でそれぞれ 1 クラスずつ減となりました。一方で、年中組新設検討小委員会が中心となって、年中組開設に向けた取り組みも進んでいます。コロナ禍も収束し、DMV エリアに住む多くの学齢期のお子さんに、日本語学校での生活を送っていただきたいところです。今年度は、様々な手法を用いて本エリアの皆様へ日本語学校の魅力を発信することで、日本語学校のプレゼンスを高めていきたいと考えています。

4 月 20 日には特別総会が行われます。昨年度に実施された取り組みの発表や予算審議等が行われます。ぜひ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。引き続き、皆様からの学校活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>



年中組の体験企画「親子でこいのぼりを作ろう！」を4月27日に実施します！

4月6日の運営委員会において、年中組のカリキュラム作成、その他の準備を整える予算が承認されました。これにより、本年度9月からの年中組発足を目指して活動を開始します（＊1）。本校で長期的に日本語習得を目指して学びたいご家庭や日本への帰国予定があるご家庭に、豊かな体験学習を中心とする、日本の文部科学省幼稚園教育要領を元にしたカリキュラムを提供いたします。

本校の小学1年生は、「日本語を聞いて理解して、お話をすることができる」ということが入学の基準となっています。しかし、たとえ入学したとしても本校の目指す「日本と同じ学習進度で学ぶ」ということは決して簡単なことではありません。幼児期に文化の体験を元にした日本語の言葉の蓄えを育むことはとても重要です。そして、幼児の可能性は、無限大です。日本語学習への家庭での目標設定の多様化が進む中で、本校の教育方針に賛同してくださる皆様に、より包括的で長期的な日本語教育を提供してまいります。



年長組では、これまでも読み書きを学び始める小学1年生へ円滑に移行できるよう、本校の小学部の教員と共同して、カリキュラムに工夫をしてきました。年中組も、年長組ひいては小学部への進級を念頭に、体験型の楽しい活動を通じて学習を続けていく中で、年齢相応の日本語力の発達を目指します。年中組のカリキュラムを作りご指導くださるのは、これまでも年長組の先生として長年活躍してくださっている高梨彰子先生です。高梨先生の温かい人柄をご存じの保護者の方も多いかと思います。来月のみらい通信では高梨彰子先生を特集します。どうぞ楽しみに。

最後に未就学児向けの体験型のイベント「親子でこいのぼりを作ろう！」のご案内です。お兄ちゃんお姉ちゃんのドロップオフの後に、高梨彰子先生とこどもの日について学んで歌って、こいのぼりを作って、親子で楽しい時間を過ごしましょう！年中児向けの活動を行います。小さなお子様もぜひお連れください。詳細や参加登録は[こちら](#)から。本校のご家族以外も参加していただけますので、ぜひお友達にも転送してください。年中組について今後詳しい情報を受け取りたい方は、nenchi@wjls.orgにメールでお知らせください。

（＊1）発足に必要な生徒数に満たない場合、延期の可能性もあります。

新管理運営委員からのご挨拶



シーブルック
留実

この4月より、中学年代表を務めさせていただくことになりましたシーブルックと申します。3人子供がおりまして、長男が小3に在籍しております。

アメリカ生活は今年で13年目となりました。これまで仕事や子育てを通して、多くの日本人の方々と接してきましたが、アメリカにしながら子どもの日本語教育を継続するのは、どの家庭においても難しいことだなと感じております。土曜日に学校へ通うことは、子供にとってはもちろん、保護者の方にとっても大変な努力を要しますが、一緒に頑張る仲間がいることは、これまで大きな助けとなってきました。子供たちが前向きに、できるだけ楽しく続けられる、そして保護者の方にも、日本語教育以上に利益を感じていただけるような学校にしていけたらいいなと思います。初めて運営委員会に入りますが、少しでも皆様のお力となれるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



松山 徳子

アメリカには 2020 年のコロナ禍に来て以来、今年度で 4 年目となります。高 1 の娘、中 1 の娘、小 3 の双子の息子たち 4 人が在籍しております。以前低学年代表を務めた際には、教務、運営、保護者のたくさんの皆様に支えていただき、私たち家族はアメリカで楽しみを見つけることができました。

このたび何かワシントン日本語学校に恩返しできればという思いから、教育人事部の一員になることになりました。微力ではございますが精一杯頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ホワイトハウス記念式典に参加しました

4 月 10 日、岸田文雄総理大臣の訪米に合わせホワイトハウスで開催された歓迎式典に本校生徒約 230 名が参加しました。出席に際し、日本国大使館をはじめ本校事務局や学校関係者の方々に全面的にご協力いただき、感謝申し上げます。早朝の集合にもかかわらず生徒たちを送り届けてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。参加した生徒たちは、日米の両首脳に直接会う貴重な経験をどう感じたのでしょうか？来月のみらい通信で詳しくお伝えします。



委員長からの報告



皆様、春休みはいかがお過ごしでしたか。珍しく現地校と日本語学校の春休みが重なった方も多かったようで、お子さんたちも保護者の皆様も、リフレッシュできた一週間になったことと存じます。

4 月 6 日に無事新年度を迎えることができました。新しく山内教頭先生をお迎えし、また、今年は久しぶりに対面での始業式も行われ、子供たちも気持ちを新たに 1 年間頑張る準備ができたのではないかと思います。

今月の管理運営委員会では、年中組設立検討小委員会より提出された、年中組設立準備のための予算が承認され、カリキュラム策定や入園希望者の募集へ向けて一歩前進しました。2024 年度予算についての審議、4 月 20 日の総会に向けた準備も進んでいます。

引き続き、保護者の皆様からの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



- 委員長： 栗原美恵
- 副委員長： 小寺友美
- 総務部： 松林拓磨（部長）・大杉真名美・竹村聡子・鶴見圭祐・松田真実
- 財務部： グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
- 教育人事部： 大島由美子（部長）・ジャコブソン彩子・羽田真実子・松山徳子・向山こずえ
- 広報部： 河野真弓（部長）・竹内由美
- 学年代表： 大島千枝（低学年代表）・シーブルック留実（中学年代表）・島未知子（高学年代表）

